

○H28 法奥小学校3年生が「ブナの森たんけん学習」をしました

9月12日月曜日、十和田市立法奥小学校3年生11名が、十和田市奥瀬幌内山国有林80林班ろ小班内ブナの巨木「森の神」で、「ブナの森たんけん学習」を行いました。

この学習は、法奥小学校が取り組んでいる「みどり学習」の一環として毎年、実際にブナの森に行き、森の多面的な役割やそこで生きる生物の大切さなどを学ぶ活動で、三八上北森林管理署と連携して実施しています。

当日は、保護柵に囲まれた幹回り6m、樹高30.2m、推定樹齢約400年のブナの巨木「森の神」の前で、児童が手をつなぎ太さ確かめ、森の役割、大切さについて森林官から説明を受けた後、付近を散策。

トチの実やキノコを見つけた、子供たちから、「ここには何種類の動物がいるの?」、「森の生き物は何を食べているの?」、「このキノコは何?」、「この赤い実は?」の質問に森林官もタジタジでした。

先生から「判らない動物は帰ってから調べること。」と宿題が出され、普段と違う授業を子供たちは楽しみました。

この学習をとおして、子供たちの森林に対する理解が少しでも深まっていたければ、森林官も嬉しい限りです。



ブナ巨木の説明



木に触れ感触を



わかる人?



太さはこのくらい?



何かあるぞ!